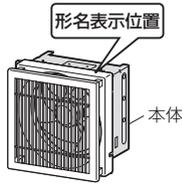




# 三菱 クリーンコンパクト 換気扇 (居間用) 20cm・25cm・30cm



形名によって据付・取扱方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

## 格子タイプ

形名			シャッター方式	運転方式
EX-20LK <sub>9</sub> -C	EX-25LK <sub>9</sub> -C		連動式	引きひも
EX-20LK <sub>9</sub> -M	EX-25LK <sub>9</sub> -M			
EX-30FK <sub>9</sub> -C				引きひも・速調付
EX-20EK <sub>9</sub> -C	EX-25EK <sub>9</sub> -C	EX-30EK <sub>9</sub> -C	電気式	埋込スイッチ
EX-20EK <sub>9</sub> -M	EX-25EK <sub>9</sub> -M			
EX-20SK <sub>9</sub> -C	EX-25SK <sub>9</sub> -C	EX-30SK <sub>9</sub> -C	風圧式	埋込スイッチ
EX-20RK <sub>9</sub> -C	EX-25RK <sub>9</sub> -C	EX-30RK <sub>9</sub> -C	連動式	引きひも・給排式

## 取扱説明書 (据付説明書付)

- お客様へ**

  - ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
  - 「取扱説明書」は大切に保存してください。
  - お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

**工事店様へ**

  - 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。据付けは販売店・工事店様において実施してください。
  - 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 据付説明書 (工事店様へ)

### 1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

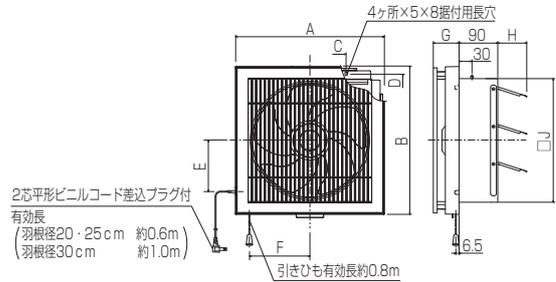
- 禁止**
  - 高温(室内温度40℃以上)になる場所や直接炎のあるおそれのある場所には据付けない  
火災の原因。
  - 改造しない  
火災・感電の原因。
- 水ぬれ禁止**
  - 製品を水につけたり、水をかけたりしない  
ショートや感電の原因。
- 浴室取付禁止**
  - 浴室など湿気が多い場所や結露する場所には据付けない  
感電・故障の原因。
- 指示に従う**
  - メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に据付けの場合、換気扇金属部とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように据付ける  
漏電した場合発火の原因。
  - 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う  
接続不良や誤った電気工事は、感電や火災の原因。
  - 交流100Vを使用する  
交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。

**注意** 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

- 禁止**
  - 天井には据付けない  
落下によるけがの原因。
- 指示に従う**
  - 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に  
落下によるけがの原因。
  - 据付けの際は手袋を着用する  
けがの原因。
  - 部品の据付けは確実に  
落下によるけがの原因。

- お願い**
- 下記の場所には据付けしないでください。
    - ・温泉地
    - ・塩害地域
    - ・薬品工場
    - ・養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
    - ・台所など油で汚れやすい場所
    - ・カーテン・ひもなどが触れるおそれのある場所
    - ・直射日光が当たる場所
    - ・火災警報器がある場合、感知部から1.5m以内の場所 (RK<sub>9</sub>タイプ)
    - ・燃焼排ガスなどを吸い込むおそれのある場所 (RK<sub>9</sub>タイプ)
    - ・外風の強い場所 (SK<sub>9</sub>タイプ)
  - 雨水の直接かかる場所では雨水が浸入することがありますので、専用ウェザーカバーをご使用ください。
  - ダクト接続はできません。
  - 天井・壁から70mm以上離れたところに据付けてください。
  - 床面から1800mm以上のメンテナンス可能などに据付けてください。
  - 空気の流れが必要なため、換気扇は対面に入出口・窓などがあるところに据付けてください。
  - 外風の強い場所・高气密住宅への設置には下記のような症状が発生する場合があります。
    - ・羽根が止まったり逆転する
    - ・停止時に本体のすき間から外風が侵入する
    - ・外風でシャッターがばたつく
    - ・換気しない

## 2.外形寸法図



■変化寸法表 単位 (mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J
EX-20LK <sub>9</sub> -C, M	296	296	120	265	100	116	64	52	240
EX-20EK <sub>9</sub> -C, M						—			
EX-20RK <sub>9</sub> -C						116			
EX-20SK <sub>9</sub> -C						—			
EX-25LK <sub>9</sub> -C, M	346	346	170	315	120	141	60	68	290
EX-25EK <sub>9</sub> -C, M						—			
EX-25RK <sub>9</sub> -C						141			
EX-25SK <sub>9</sub> -C						—			
EX-30FK <sub>9</sub> -C	396	396	220	365	140	166	80	85	340
EX-30EK <sub>9</sub> -C						—			
EX-30RK <sub>9</sub> -C						166			
EX-30SK <sub>9</sub> -C						—			

※風圧式シャッター (SK<sub>9</sub>タイプ) の場合、外風・室内圧等の影響により開き寸法が変化します。

## 3.壁穴工事

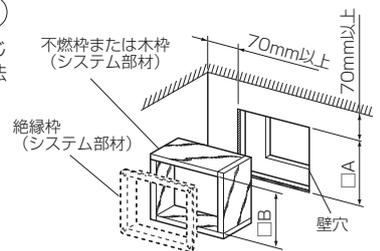
### 壁穴・木枠の寸法

壁穴の寸法は木枠(不燃枠)の厚さに応じ異なりますが板厚20mmの場合下表の寸法となります。

単位(mm)

機種	A	B
羽根径20cm	290	250
羽根径25cm	340	300
羽根径30cm	390	350

※木枠の内寸法Bは、うちわボルト据付の場合±5、木ねじ据付の場合-5の範囲内で製作してください。



※木枠の室内側の面が壁面と同一面になるように据付けてください。パネル落下の原因になります。  
※絶縁枠は据付け壁面が金属板などの場合にご使用ください。

### ○木枠作りのおお願い

板厚20mm以上で室外側下部に約5°の傾斜をつける…雨水浸入防止  
木枠内のり寸法が小さい木枠に据付けると本体が変形したり、シャッターが動作しないことがあります。

### 壁穴位置

天井、壁から70mm以上離す。  
必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付ける。

# 4.電気工事

工事	タイプ	LK <sub>9</sub> ・FK <sub>9</sub> ・RK <sub>9</sub>	EK <sub>9</sub> ・SK <sub>9</sub>
コンセント工事	右記の①、②のいずれかを実施してください。	①専用コンセントを設ける場合、換気扇近くに設けてください。	
		②換気扇内部にコンセントを設ける場合、別売システム部材のコンセント取付金具 (P-1X <sub>2</sub> ) を使用します。コンセント取付金具の据付説明書を参照してください。	
埋込スイッチ工事		本体に引きひもスイッチが付いていますので不要です。	本体にスイッチがないため操作しやすい場所に埋込スイッチ (システム部材) を設けてください。

■埋込スイッチ・埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C 8340に規定の市販品を利用してください。

# 5.据付方法

**注意** ●据付けの際は手袋を着用する  
 けがの原因。

**【電源コードの引き回しかた】**  
 ※電源コードは金属カバーの上を通して引き出してください。  
 コードの長さはコード掛けに巻き付けて調節してください。

**羽根のはずしかた**  
 ① はずしボタンを押す  
 ② はずしボタンを押しながら手前に引く

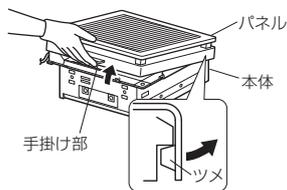
**【電源コードの引き回しかた】**  
 ※2が所起こして使用してください。  
 電源コードのかみ込みや傷付きが生じないようにしてください。

※EK<sub>9</sub>・SK<sub>9</sub>タイプはシステム部材の埋込スイッチが必要です。  
 シャッター方式が電気式・風圧式のタイプには引きひもはありません。

## 1 パネルと羽根をはずす

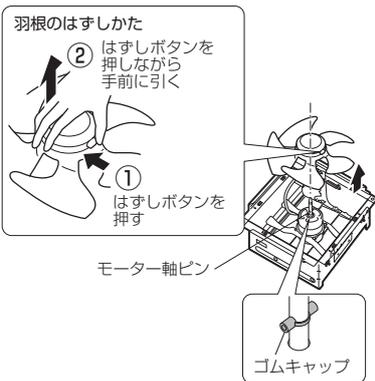
### (1) パネルをはずす

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。



### (2) 羽根をはずす

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。



### お願い

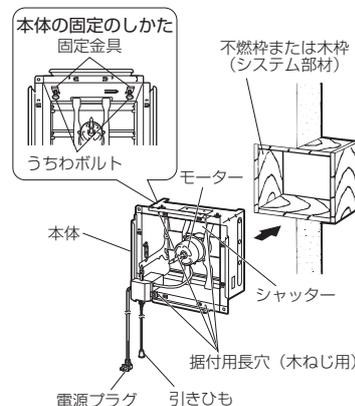
- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。異常音発生の原因。
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。シャッターが変形し動作しないことがあります。

## 2 本体を据付ける

- 「うちわボルト」2本で確実に固定する。または市販の木ねじで据付用長穴上(2)・下(2)計4か所固定する。
- 2.5m以上の高さに据付ける場合は安全のためうちわボルトは使用せず、必ず市販の木ねじで据付用長穴上(2)・下(2)計4か所固定する。

### お願い

- うちわボルトを使用しない場合は、うちわボルトおよび固定金具をはずしてください。
- 市販の木ねじは、めっき等を施した耐食性のある鉄製のねじを使用してください。



## 3 コンセントの位置に合わせて電源コード引出口を決める

- ①左右の上下4か所のいずれか1か所から電源コードを引出す。  
 ※上部から引き出す場合は、薄肉部をカッターナイフなどで切り取る。(切断部がエッジにならないように加工してください)
- ②電源コードのたるみが、羽根・パネルに当たらないよう、コード掛けを起こして巻き付ける。  
 ※電源コードを巻き付けた後は、コード掛けを倒して電源コードを固定してください。

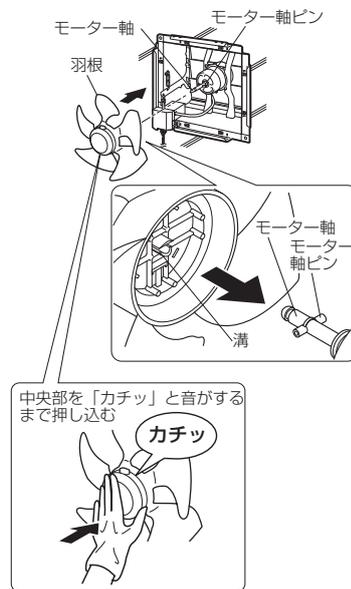
## 4 羽根とパネルを取付ける

### (1) 羽根を取付ける

- ①羽根裏側の溝をモーター軸ピンに合わせながら、羽根中央部をモーター軸に挿入し、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- ②羽根中央部を軽く手前に引っ張り、羽根が確実に取付けられていることを確認する。

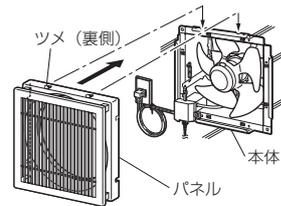
### 注意

- 部品の据付けは確実に行う落下によるけがの原因。



### (2) パネルを取付ける

- パネル裏側上面のツメを本体上部に引っ掛けて取付ける。



# 6.据付後の確認および試運転

- 据付作業終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません)
- お客様立ち会いで試運転を行ってください。

	チェック項目	不具合の対策	チェック
試運転前	電源は100Vですか?	100Vに直します。(異電圧を印加すると製品が破損します)	
	本体の据付け強度は十分ですか?	うちわボルトまたは木ねじで確実に固定します。	
	パネルが確実に取付けられていますか?	パネルを取付け直します。	
試運転時	羽根が確実に取付けられていますか?	羽根を取付け直します。	
	(引きひもスイッチタイプの場合) 引きひもを引いて動作を確認しましたか?	引きひものからみなどを直します。	
	(壁スイッチタイプの場合) スイッチと本体の動作は合っていますか?	結線を直します。	
	羽根当たり音がしていませんか?	パネルをはずして配線の処理、羽根・パネルなどの部品を取付け直します。	
	シャッターが正常に作動していますか?	シャッターの変形、部品の取付け、木枠の内寸法を確認します。	

# 7.お客様への説明

取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者または管理者にご説明ください。

# 取扱説明書

お客様へ

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
<b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス漏れに気づいたら、換気扇のスイッチを入・切や電源プラグの抜き差しはしない 爆発・引火の原因。</li> <li>●電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない 火災・感電の原因。</li> </ul>
<b>水ぬれ禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体各部に直接水やお湯をかけない ショート・感電の原因。</li> <li>●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様相談窓口にご相談ください。</li> </ul>
<b>分解禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・けがの原因。</li> </ul>
<b>ぬれ手禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際、電源プラグの羽および羽の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭く 火災の原因。</li> </ul>
<b>指示に従う</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因。</li> <li>●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火、感電、けがの原因。 (異常・故障例) 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。</li> </ul>
<b>プラグを抜く</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。</li> </ul>

<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
<b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引きひもを急に引っばったり、斜めに引っばらない 引きひもが取れて調理器具等の高温部や炎に手などが触れ、火傷・けがの原因。</li> </ul>
<b>接触禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中は、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</li> </ul>
<b>指示に従う</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●羽根や部品の取付けは確実にを行う 部品の落下によりけがの原因。</li> <li>●お手入れの際は手袋を着用する けがの原因。</li> <li>●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショートして発火の原因。</li> <li>●長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</li> </ul>

## 使用方法

- LK<sub>9</sub>タイプ  
引きひもを引くことに「入」↔「切」します。
- EK<sub>9</sub>・SK<sub>9</sub>タイプ  
壁スイッチで「入」↔「切」します。
- FK<sub>9</sub>タイプ  
引きひもを引くことに「強」→「弱」→「切」に切替わります。
- RK<sub>9</sub>タイプ  
引きひもを引くことに「排」→「給」→「切」に切替わります。

### お願い

- 引きひもはゆっくりとまっすぐ下に引いてください。(引きひもスイッチタイプ)  
斜めに引いたり急に力を加えようと、引きひもが取れたりスイッチが故障する原因になります。引きひもが取れた場合は、お買上げの販売店または工事店にお申しつけください。
- 給気運転時は、雨水・雪・霧を吸い込み、室内に水滴が滴下することがありますので、そのような場合には「給気運転」を停止してください。  
また、換気扇の下に書棚等を設置しないでください。(RK<sub>9</sub>タイプのみ)
- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用しないでください。  
(製品の寿命が短くなる場合があります)

### お知らせ

- 給気運転時は直接外気が吸い込まれ、虫・ほこりなどが侵入するおそれがあります。
- 冬期、結露によって本体から結露水が滴下することがあります。

## お手入れ

### 警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。感電・けがの原因。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電・けがの原因。
- 本体各部に直接水やお湯をかけない。ショート・感電の原因。

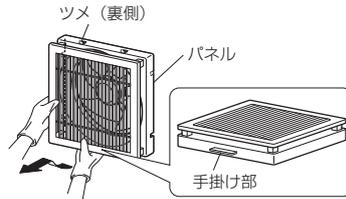
### 注意

- お手入れの際は手袋を着用する。けがの原因。

## 各部品のはずしかた

### 1 パネル

- 手掛け部を手前に引いて、パネル裏側上面のツメを本体からはずす。

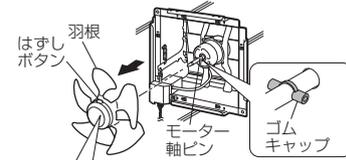


### 2 羽根

- 羽根中央部を軽く持って、はずしボタンを押しながら手前に引く。

#### お願い

- モーター軸ピンのゴムキャップははずさないでください。  
異常音発生の原因。



### 3 本体

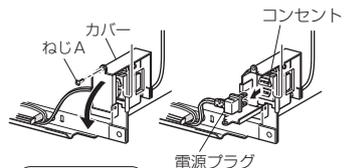
#### お願い

- 本体が木ねじで壁に固定されている場合は、本体を壁からはずさないでください。  
壁側のねじ穴が破損し、製品落下の原因。
- シャッターは本体からはずさないでください。  
動作不良の原因。



### 〈内部コンセントがある場合〉

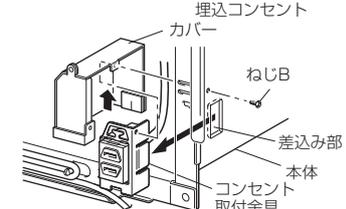
- ①換気扇のプラグを抜く  
ねじAを取りはずし、カバーを開ける。  
コンセントからプラグを抜く。



- ②本体を手前に4cm程引き出す  
「うちわボルト」をゆるめ、本体を手前に4cm程引き出す。



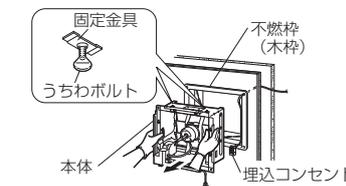
- ③コンセント取付金具とカバーをはずす  
本体側面のコンセント取付板の固定ねじBをはずす。  
屋内配線コードを埋込コンセントに付けたまま、コンセント取付金具を手前に引いて本体からはずす。



- ④本体をはずす  
不燃枠(木枠)から本体をはずす。

### 〈本体の近くにコンセントがある場合〉

- 電源プラグをコンセントから抜き、本体上部にある「うちわボルト」をゆるめて本体を不燃枠(木枠)からはずす。



## 清掃のしかた

- 羽根 (清掃目安: 約2~3か月に一度)  
台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とす。汚れを落とした後、水洗いし、よく乾かしてください。
- パネル (清掃目安: 汚れが目立ってきたとき)  
乾いた布でからぶきする。または、水洗いし、よく乾かしてください。
- 本体 (清掃目安: 汚れが目立ってきたとき)  
台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でからぶきしてください。

### お願い

- 台所用中性洗剤に記載の使用量の目安まで薄めて使用してください。  
(洗剤は原液のまま使用しないでください)
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。  
(台所用中性洗剤をご使用ください。ただし、柑橘系などの植物系洗剤はプラスチックが破損するおそれがあるため使用しないでください)  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など  
(異常音の発生、変質、変色や故障の原因になります)
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。
- モーター軸ピンのゴムキャップをはずさないでください。
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けしないでください。  
(モーター軸にサビが発生し、羽根がはずせなくなるおそれがあります)

